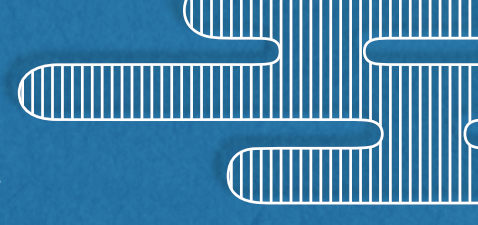




「京もの担い手育成事業」  
インターンシッププログラム



京仏具

# 川口木彫

川口真慈 様

2025年6月～2025年8月

上記期間に工房見学と合計4回のワークショップを実施  
一対面開催2回・オンライン開催3回



「京もの担い手育成事業」

主催 | 京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

企画・運営 | ようび

コーディネーター | 大島 正幸 (ようび 代表取締役)



# プログラムの流れ

## 川口木彫

### 事業内容

社寺仏閣の装飾彫刻

(主に欄間や仏具などの木製品の彫刻)・修復

### 川口木彫について

中井木彫工に弟子入りし、10年間の修業を終えて

川口木彫を設立。主に欄間や仏具などの木彫刻

(龍や獅子、花鳥など)の制作や修復を手掛けています。

第43・44回京仏具技術コンクールでは近畿経済産業局長賞、第45回京仏具技術コンクールでは京都市長賞を受賞されており、彫刻刀や鑿、鉋や砥石など1000種類以上の道具を使い分けて制作される繊細で美しい川口様の彫刻は、多くの人を魅了しています。



day1, day2

### ● 工房見学

ワーク

川口木彫についてインプット&ヒアリング



### ● リテラシー教育

講義&ワーク

社会の現状と未来予測

現代社会で必要とされる  
リテラシーに関する講義



### ● 現状分析

川口様のプレゼンテーション

川口木彫の事業について

ワーク

事業の現状ヒアリング

ワーク

事業の強みと課題の言語化

設定された課題 |

ワークショップや工房見学など体験商材が少ない



day3, day4, day5

### ● リテラシー教育

講義

意識は成長をつくり、無意識は機会を逃す



### ● 課題解決のための アクションプラン案 の検討

ワーク

ワークショップのアイデアを出す

ワーク

ペルソナ設定

ワーク

欄間パズルを考えて、パズルの組立説明書をつくる

ワーク

ペルソナごとに、ツアーコースをつくる  
& 第4回個別会で実施するツアープランを考える

ワーク

実際にツアーを実施 / 参加する

ワーク

実際にツアーをしてみて good と more を言語化する



### ● 事業者様とインターン生の 今後のつながりをつくる

ワーク

今後の繋がりをつくる





# 課題を分析

## 工房見学 川口木彫についてヒアリング

川口木彫の事業についてインターン生に理解を深めてもらうために、グループに分かれて工房見学を実施しました。

その後、さらに川口木彫や京仏具・木彫刻に関する知識をインプットしてもらうために、別会場にて川口様からインターン生に事業に関するプレゼンテーションをしていただきました。

プレゼンテーションでは、事業の歴史や特徴、商品の説明、現在の取り組みについて説明していただきました。

実際に彫る様子を拝見できました。鉛筆でさっと描いた線が、たくさんの彫刻刀を駆使していることを感じさせないような、一本のなめらかな輪郭になるところがとても印象に残りました。

## ワーク① 川口様への現状ヒアリング

川口木彫が抱える課題を分析するために、インターン生は工房見学と川口様のプレゼンテーションで得た知識をもとに、事業の現状について川口様にヒアリングを行いました。

<インターン生から出た質問項目>

- 従業員について
- 欄間のパーツはどれくらい分けられるのか
- 彫刻のモチーフについて
- SNSの活用について
- 今後の展望 等

木彫の技術だけでなく、川口さんの考え方や木彫の文化や技術を残したいという想いを知ることができました。

## ワーク② 課題の言語化と設定

川口様のプレゼンテーションやヒアリング結果をもとに、インターン生は川口木彫の事業の課題を分析し、言語化しました。

### プログラムで設定された課題

ワークショップや工房見学など体験商材が少ない

## 講義 川口様へ追加ヒアリング

川口様とインターン生がどんな目的で新しい体験商材を考えるか明確にするために、コーディネーターの大島から川口様へヒアリングを行いました。

ヒアリングの結果、本プログラムでは「京仏具や木彫の認知を増やせるような体験商材」を考えることになりました。



# アクションプランの提案

## ワーク① ワークショップのアイデアを出す

京仏具や木彫の認知を増やすために、川口木彫が今後どんなワークショップを実施すると良いかを検討するため、インターン生にはチームに分かれてワークショップのアイデアを考えてもらいました。

- 欄間を組み立ててみるワークショップ (欄間パズル)
- 川口さんと一緒に木彫を見るツアー
- ことわざを彫ってみるワークショップ
- 下絵について学ぶワークショップ 等

この2つの案をさらに具体的に深掘ることに決定!

## ワーク②-1 欄間パズルを考えて、パズルの組立説明書をつくる

## ワーク②-2 川口さんと一緒に木彫を見るツアーのツアープランを考える

欄間パズルの組立説明書を考えるチームと川口さんと一緒に木彫を見るツアーのツアープランを考えるチームに分かれ、ワークショップの内容をさらに具体的に考えました。

ツアープランの作成は、交通の便や時間配分などを考慮しなければならぬ点が、難しかったです。他のメンバーと意見を出し合って、ツアープランが完成したときは達成感を感じました。

## ワーク③ 実際にツアーを実施/参加する

ワーク②-2で考えたツアープランを実際に実施しました。

<考えたツアープラン>

13:00	東福寺駅 集合
13:05 - 13:40	瀧尾神社
13:50 - 15:00	東福寺
15:20 - 16:30	泉涌寺
17:30 - 18:30	イノベーションカフェ「KOIN」にて振り返り

※猛暑のため、本プログラムでは「泉涌寺」への訪問を見送る形でツアーを実施しました。

考えたツアープランを実際に実施! ツアーに参加して、良かった点とこうしたらもっと良くなる点を見つける!



自分1人で行ったら、きっと見逃していた部分を川口さんが面白く解説してくださり、あつという間に時間が過ぎたように感じました。普段よりも何倍も見るのが楽しかったです。

川口さんの彫刻への情熱や愛を感じました。またツアーが開催されたら、ぜひ参加したいと思いました。

# プログラムを終えて

木彫刻の認知は自分が思っているより遥かに低く、**自分の中に木彫刻を知ってもらいたいという気持ち**が強くある事に気づきました。ワークショップなど、内側からは見えない、周りの望んでいるものが分かり、改善点の明確化に繋がりました。今後、より木彫を分かりやすく伝えられるよう、**分かりにくい言葉を分かりやすい言葉に変えたり、図面・写真などを使って伝える取り組み**は直ぐにでも取り掛かりたいと思います。



川口木彫  
川口真慈様

川口さんの強みがビタッとハマる案を**考えることができたのではない**かと思ひ、嬉しいです。今後もいろいろな人を巻き込みながら、**楽しいツアーやパズルが実現して、たくさんの人に木彫刻の魅力が伝わってほしいし、自分自身も参加したい**です。



インターン生  
大学4年生



インターン生  
大学4年生

今まで木彫刻についてあまり触れたことがなかったので、新しく知ることがたくさんあり、**楽しく学びながらプログラムに参加することができました**。欄間パズルやツアーなど、**木彫刻の魅力を多くの人に広めるための方法が、多様に存在すること**に気づきました。

よく考えたアイデアでも、実際に実行してみると**思案時には気づかなかった改善点が見つかった**ことから、想像を膨らませるだけでなく、それを実行して**more(もっとこうしたら良くなる点)**を探すことが**大事だ**と実感しました。



インターン生  
大学2年生